

施工規模

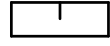

工事面積 A≒25,343m²

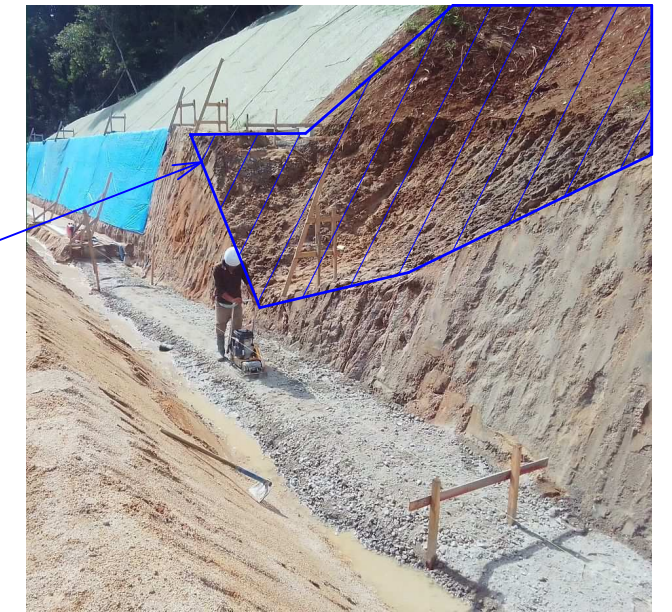
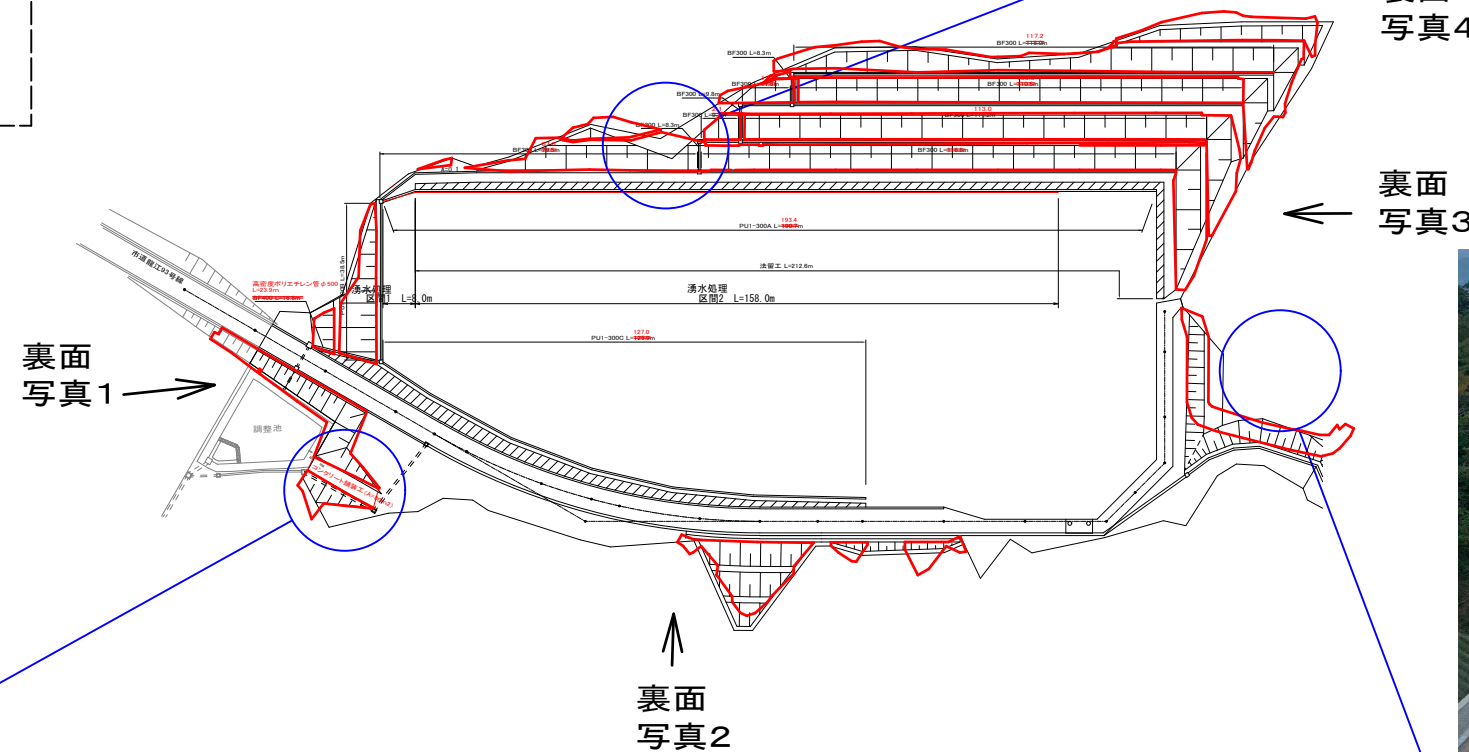
内道路範囲 A≒3,000m²(L=338m W=4.0m~7.0m)

＜第1回設計変更の主な理由＞
(令和4年12月議会 議案第107号)

- ・工事の当初設計時に、14,400m²の範囲となる流木の伐採及び処分費については、県の設計基準に則り業者3社から見積りを徴収し当初設計に反映したが、実績数量が大幅に超過したため。
- ・谷地形による湧水等の影響で水を含んだ表土の掘削及び運搬等、現場条件による土工作業の変更が必要となったため。

② 法面工・水路工変更展開図

凡例	
	当初設計
	現場出来形



①、② 軟弱土砂の撤去及び復旧



① スtockした仕上げ材の運搬

＜第2回設計変更理由＞

①	土工	法面軟弱土砂の掘削及び復旧、造成地の表面仕上の土砂ストックの運搬等が増工(対象土砂V≒1,400m ³) (掘削土量 当初設計:V=41,400m ³ 最終:V=43,800m ³) (土砂運搬 V=14,850m ³ (フルト-サによる押土からトラック運搬に変更))	約310万円の増工
②	法面工	軟弱土砂撤去箇所の法面整形及び、現場精査による法面保護を実施(右上図面参照) 法面整形工A≒400m ² の増工 法面保護工(植生マットの設置)A≒600m ² の増工 (法面整形工 当初設計:A=6,780m ² 最終:7,130m ²) (法面保護工 当初設計:A=6,200m ² 最終:6,790m ²)	約320万円の増工
③	付帯工	既設ため池への自然環境保全対策工の増工 (繊維系かごマット設置によるビオトープ形態の整備及びサクラバハノキ、ユウスゲ等植物の移植) (最終変更にて増工)	約130万円の増工
④	舗装工	調整池維持管理道路のコンクリート舗装施工(A=80m ²) (碎石舗装からコンクリート舗装へ変更)	約110万円の増工



④ コンクリート舗装



③ 既設ため池への環境保全対策(植物の移植)

写真1



写真3



写真2



写真4

